

## 瀬戸内海で銀色に輝く「春告魚」

みなさんは、春の訪れを知らせる「春告魚」という魚を知っていますか？春にたくさん獲れたり、旬を迎える魚のことを春告魚と呼びます。一言で春告魚といっても、地域では異なり、例えば北海道では、ニシン。山形県では、サクラマスなどが有名です。そして、私たちに関わり深い瀬戸内海の代表的な春告魚は、サヨリ、イカナゴ、サワラ、メバルなどです。その中でも、今回は3月に旬を迎えるサヨリを紹介します。みなさんは、サヨリを見たこと、食べたことはありますか？

### サヨリの特徴

- 下顎が針のように長く突き出している
- 細長くスラとした体形
- 銀白色に美しく輝く外見



瀬戸内海では、冬頃から獲れ始めますが、産卵期前の3月頃が、最もおいしい時期と言われ、タンパク質やビタミン、ミネラルなどの栄養素をバランスよく含んでいます。全長30～40cmにもなるほど大きく成長することもあります。また、大きなものはお寿司屋さんやお刺身料理店、天ぷら専門店などで使われるような高級魚として扱われています。小さめの魚は、一夜干しなどに加工されることも多いようです。

サヨリの見た目はとてもきれいですが、実は、お腹の中には真っ黒な薄い膜があるのです。そこから、「外見はきれいでも、実は腹黒い」という例えに使われます。サヨリからしてみたら、とても迷惑なお話ですね。

みなさんも、これから最もおいしい季節を迎えるサヨリを、ぜひ食べてみてください。【M.S】



株式会社ウミダス

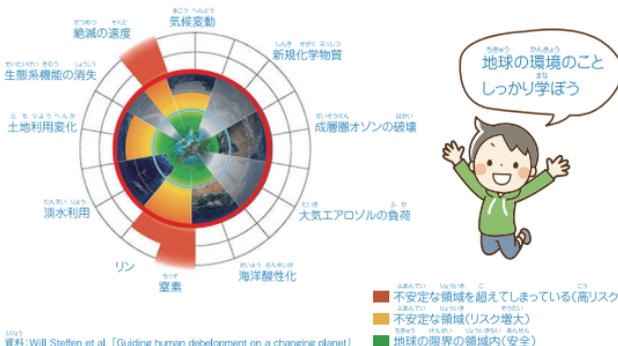
広島県三原市糸崎7-8-22

U-midas.com >>>>



## 地球の最大級の危機!? プラネタリー・バウンダリーってなんだろう？

最近、SDGsに関するテレビ番組を見たというみなさんも多いのではないのでしょうか。でも、その内容が詳しく分からない、難しい、と思いませんか？そこで、ウミダス通信は、海に関するSDGsの重要性や、エンカールについてご紹介していきます。みなんで学んでいきましょう。皆さんは、「プラネタリー・バウンダリー」という言葉聞いたことがありますか？これは、スウェーデンの環境学者者ヨハン・ロックストーム博士たちによって開発された、「地球の健康度」が分かりやすく示されるための考え方です。まずは、ひとつの図を見てみましょう。



これは、地球上の環境変化について、それぞれの項目での基準値を図に表しています。その基準値をひとつ超えるごとに、内側から外側へ進み、赤色になっていく仕組みです。まず、図の中に水色の線がありますね。その中(緑色ゾーン)に今の状態がおさまっていると、地球は健康で、人間が安全に暮らせる状態とされています。しかし、赤色のゾーンを超えると、も2度と元に戻らない(不可逆的)状態に入ります。それは、地球にとって重大な環境破壊が起こり、人間が暮らせない環境に近づいている、ということです。

しかし、今の地球の環境は、すでに図のような状態です。「気候変動」などの多くの項目で、危険レベル(オレンジ～赤色)になっていますね。この状態のままでは、みなさんが大人になる頃には、人間が暮らせない地球環境になってしまうかもしれません。人間が健康診断で体の状態を知るように、地球がどんな状態にあるかをみなさんに知ってもらうために表したものが、この「プラネタリー・バウンダリー」です。そしてこの考えが、SDGsのはじまりです。【A.K】